

〈専門領域名〉

産婦人科

専門研修プログラム名	川崎医科大学産婦人科研修プログラム		
連携施設群 (連携施設一 覧)	小池病院、三宅医院、厚仁病院、鳥取市立病院、兵庫県立西宮病院、地域医療機能推進機構大阪病院、大阪警察病院、愛染橋病院、大阪急性期・総合医療センター、大阪府済生会中津病院、堺市立総合医療センター、りんくう総合医療センター、大阪労災病院、川崎医科大学総合医療センター、赤堀クリニック、日本生命病院、市立豊中病院、庄原赤十字病院、国立病院機構岡山医療センター		
募集定員数	各年次 5 名	研修期間	3年間
専門研修プログラムの概略	1. 専門研修プログラムの内容（概略） このプログラムは産科婦人科専門医取得のための総合的研修を目的としたものです。基幹研修施設として川崎医科大学附属病院産科婦人科を中心とし、関連施設として、地域中核病院産婦人科、専門医療施設、近畿圏都市部の地域中核病院産婦人科を設定しています。 川崎医科大学は、岡山県西部を主とし、県北部、県南部、広島県東部の医療の中核を担っており、プログラムを通じた研修は、専門医養成に加えて、救急医療も含めた地域の安定した医療体制も実現するものです。川崎医科大学附属病院にてエビデンスに基づいた高度の産婦人科医療を経験します。 さらに地域で専門性の高い医療を行っている施設において研修し、また、希望者には大阪大学の関連病院で質の高い医療を行っている大阪、兵庫の都市部の地域基幹施設での研修も用意されています。		
	2. 当専門研修プログラムの研修スケジュール 研修プログラムの期間は3年である。この3年間を最短1か月、最長2年に分割して複数の施設で研修する。少なくとも1年間(最長2年間)は川崎医科大学附属病院で研修を行う。その他の研修施設や研修期間については、できる限り希望に沿うようにする。 【1～2年間の研修を行う施設】 川崎医科大学附属病院 【1～18ヶ月の研修を行う施設】 ●総合型施設(川崎医科大学附属病院を除く) 川崎医科大学総合医療センター、大阪警察病院(大阪)、地域医療機能推進機構大阪病院(大阪)、大阪府立急性期・総合医療センター(大阪)、大阪労災病院(大阪)、済生会中津病院(大阪)、市立堺病院(大阪)、兵庫県立西宮病院(兵庫)、りんくう総合医療センター(大阪)、日本生命病院(大阪)、市立豊中病院(大阪)、国立病院機構岡山医療センター ●連携専門医療型施設 厚仁病院(香川)、小池病院(広島)、三宅医院、愛染橋病院(大阪)、赤堀クリニック ●連携型施設 鳥取市立病院(鳥取)、庄原赤十字病院(広島)		
専門医に必要な要件の概略	初期研修を終了していること ※詳細については、日本産科婦人科学会HPを参照 http://www.jsog.or.jp/to_medics/index.html		
プログラム統括責任者	ふりがな 氏名	しもや こういちろう 下屋 浩一郎	所属・役職 産婦人科学 診療部長(教授)
プログラム担当者	ふりがな 氏名	むらた たくや 村田 卓也	所属・役職 産婦人科学 副部長(准教授)
問合せ先	Tel: (086)462-1111(代表)(内線)26513 E-mail: gyne@med.kawasaki-m.ac.jp (部署名) 産婦人科学教室		